

編集

三好市役所総務部秘書人事課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

<http://www.city-miyoshi.jp/>



QRコードからアクセス

□ 編集後記

今月の探訪は仏子谷の水車。復元に尽力された鞆総さんからは、復元までの道のりや小さい頃の思い出を聞くことができました。今号の特集で「後世に伝えよう郷土の魅力」と題し、ジオパークを取り上げていますが、水車が運ぶ地域の暮らしはまさにジオ。「昔の人はほんまによく考えて作とる」鞆総さんの一言が、妙に頭に残っています。ジオへの入り口は、生まれ育ったこの場所にたくさんあります。探し出す楽しみもまたジオの魅力かもしれません(近)

皆さまお久しぶりです。(川)から(井)となり、母となり広報担当に帰ってまいりました。5月31日のチャレンジデーでは、三好市内中でさまざまなスポーツに取り組まれている方々の元へ。野呂内地区で行われたきらめき元気アップ教室のいきいき百歳体操では、最高齢98歳の方が参加。ゆっくりとした動きにもかかわらずハードな体操にビックリしてしまいましたが、笑顔でなんでもこなしている地域の皆さまから元気のパワーをいただくことができました(井)

三好市探訪



仏子谷の水車

— 三好市山城町仏子 —

国道32号線から県道271号に入り、仏子橋手前を塩塚方面へ1.2キロ進んだところに仏子谷の水車があります。仏子谷川沿いには、かつて10基以上の水車があり、のどかな田園風景が広がっていました。

この水車は、当時の懐かしい風景を取り戻そうと「仏子谷水車復元及び保存会」により復元されたもので、直径約2.1メートル。水車小屋には、米やキビなどが脱穀できる石臼2基が備えられ、復元の過程を写した写真も展示されています。2015年3月1日には、地元住民や保存会員など関係者が参加し完成を祝う式典が開かれ、先人たちの知恵や当時の暮らしを後世に伝えるとともに、地域の活性化を願いました。

仏子地区では、修学旅行生などが民泊した際に、水車の働きを説明したりタカキビなどを脱穀したりするなど農山村の暮らし体験に活用しています。また、外国人観光客も見学を訪れるなど、手作り水車が地域ににぎわいを運んでいます。